

2012.11 No. 23



佐賀大学病院ニュース

患者・医師に選ばれる病院を目指して

News & View

〒849-8501 佐賀市鍋島五丁目1番1号

TEL 0952-31-6511(代)

病院ホームページ <http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/>

睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 専門外来を開設

循環器内科
野出 孝一



睡眠時無呼吸症候群は、日本では全人口の男性3.3%、女性0.5%が罹患していると言われ、決して珍しい病気ではありません。平成15年2月のJR山陽新幹線での居眠り運転事故でマスコミに取り上げられて以来、医療関係者だけでなく一般の方々の関心も高くなって来ましたが、この病気が、夜間の呼吸障害(息が止まる、イビキがうるさい)と云っただけではなく、将来的には高血圧症、脳卒中、メタボリック症候群、心臓病などを引き起こす怖い病気であることが明らかになって来ました。

循環器内科では、多くの高血圧症や脂質異常症などメタボリック症候群患者の診療を行ってきた経緯もあり、積極的に検査を行って来ました。そこで、本年7月から毎週水曜日午前中に睡眠時無呼吸外来を開設し診療を行っています。現在、尾山医師を中心として、

児玉医師、長友医師の3名で診療に当たっています。検査及び治療の流れですが、まず外来を受診して頂くと、夜間に呼吸障害があるかどうかを調べる機器を貸し出して検査を行います(簡易検査)。その検査結果で異常が認められると、入院して1泊2日の精密検査を行い、確定診断に至ります。治療としては重症の場合は持続陽圧呼吸(CPAP)用のマスクを装着して夜間就寝して頂きます。最初は機械に慣れることが必要ですが、多くの患者さんは問題なく使用できます。軽症の場合は、口腔内器具(マウスピース)を作製し就寝時に使用して頂きます。この病気が多くの患者さんで肥満傾向を認めますので、体重の是正だけでも症状が改善します。

生活習慣も含め診療にあたって参りますので、お気軽に相談下さい。

佐賀県排泄ケアネットワークの構築

本院では、泌尿器科が中心となり、佐賀県地域医療再生計画事業の一環として佐賀県排泄ケアネットワークの構築に取り組みんでいます。医療従事者や介護者を対象として、排泄管理に関する研修を支援し、効果的に満足度の高い排泄管理を行って、患者のQOL向上や医療従事者及び介護者の負担軽減を図ることを目的としています。

近年の高齢化社会の到来により、人間らしく生きるということの意義が語られるようになり、排泄という生命活動に注目した医療・看護・介護の在り方が問わ

粒子線がん治療外来を開設

放射線科長
入江 裕之



平成24年12月1日から、専門外来「粒子線がん治療外来」を開設します。本院放射線部高エネルギー棟診察室にて毎週月・金曜の午後外来診療を行います。粒子線がん治療の経験が積んだ4名の放射線治療専門医が担当します。

粒子線治療は先進医療として実施されており、陽子線治療と重粒子線治療(炭素イオン線治療)の2種類があります。粒子線は線量集中性が高く、X線やガンマ線を用いた従来の放射線治療に比べて有害事象や二次発がんリスクを低減できると考えられます。粒子線の中でも重粒子線は、悪性黒色腫、骨軟部肉腫といった従来の放射線治療に抵抗性である腫瘍に対して治療効果が高く、特に注目されています。粒子線治療施設は限られており、これまで岡山県以西にはありませんでしたが、昨年鹿児島県指宿市に陽子線治療施設が開院し、更に佐賀県鳥栖市に重粒子線治療施設(九州国際重粒子線が

ん治療センター)が平成25年春に開院の予定です。本院およびその関連医療機関において、粒子線治療に関する患者さん側および医療者側からの相談、粒子線治療を希望する患者さんの適応判断、治療実施施設への紹介や治療後の経過観察等の件数が増加することが予想され、また重粒子線治療と陽子線治療の選択を症例に応じて適切に判断する必要性も生じてきます。がん診療連携拠点病院である本院において、粒子線治療施設と緊密に連携し、適切な情報提供・適応判断のために必要な検査を施行し、円滑な患者紹介並びに治療後の経過観察を実施できる診療体制を整備することは極めて重要なことと考えられ、各臓器のがん治療、従来型の放射線治療、高精度放射線治療および粒子線治療に精通した放射線治療専門医による専門外来を設置する意義は大きいと思われれます。

泌尿器科
魚住 二郎



を目指しています。医療者間の緊密な医療連携による地域医療の充実と看護・介護を受ける方の尊厳維持を目標としています。また、介護者、患者さんからの質問も受け付け、適宜アドバイスをする事ができるようなシステムの構築も計画しております。

11月17日に開催された「第4回佐賀県排泄管理セミナー」(詳細は泌尿器科HP)では、佐賀県排泄ケアネットワークの活動の柱となるホームページ(URL: <https://www.saga-haisetsu-care.org/>)の紹介とともに、会員登録、ホームページ活用方法などに関する実

就任挨拶

放射線医学講座
教授 入江 裕之



平成24年8月1日付けで放射線医学講座の教授に就任しました入江裕之です。昭和61年に九州大学を卒業し同大学放射線科に入局して、九州大学病院とその関連病院で放射線診療に携わってきました。平成19年11月に准教授として佐賀大学に赴任しましたので、本院での勤務歴ももうすぐ5年となります。放射線科の仕事は診断と治療の大きく二つに分かれます。診断医はCTやMRIなどの読影をしたり、胃透視や超音波などの検査を行ったり、またカテーテルを使って悪性腫瘍の治療、出血の止血などを行ったりしています。直接患者さんと接する機会は少ないものの、常に患者さんのためになる医療を提供しようという心がけています。治療医は悪性腫瘍を切らずに治すことを目標として、主治医とともにチーム医療の一員として頑張っています。本院には最新鋭の放射線治療機器が揃っています。64列のマルチスライスCTが2台、1.5テスラと3テスラのMRI、CTを装備した血管造影装置、癌の診断に不可欠なPET-CT、きわめて精度の高い治療可能な放射線治療装置など設備の点で不満はありません。これらの機器を駆使して、できるだけ質の高い放射線治療サービスを提供していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



産科婦人科学講座
教授 横山 正俊

平成24年10月1日付けで産科婦人科学講座の教授に就任しました横山正俊です。私は昭和59年に佐賀医科大学を一期生として卒業しました。産科婦人科に入局し、九州大学生体防御医学研究所での大学院国内留学や関連病院出張、カナダへの留学を除いて、佐賀大学で臨床、教育、研究に携わって来ましたが、今回、佐賀医大卒ということでも多くの卒業生の皆様からの激励をいただき、期待と責任をひしひしと感じています。県内のほとんどの基幹病院の産科婦人科医師は、佐賀大学からの派遣です。佐賀大学の産科婦人科は、学内だけでなく佐賀県全体の産科婦人科医療を担っているといっても過言ではありません。産婦人科の医師不足は県内でも深刻ですが、効率的な医療を行い、周産期の予後は全国トップクラスの成果をあげて来ました。また県内の婦人科悪性腫瘍の多くは、佐賀大学で高度な診断、治療を行っており、集約化が進んでいます。今後も、大学を中心に佐賀県の産科婦人科医療の発展に全力を注ぎます。また、私の専門分野でもある子宮頸癌の撲滅に向け、HPV検査を併用した子宮頸がん検診やHPV予防ワクチンの推進などの努力も続けてまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



▲第4回佐賀県排泄管理セミナー(佐賀県母子福祉センター)

睡眠時無呼吸症候群(SAS)専門外来を開設 野出 孝一

粒子線がん治療外来を開設 入江 裕之・徳丸 直郎

佐賀県排泄ケアネットワークの構築 魚住 二郎

放射線科長 入江 裕之

重粒子線がん治療学 徳丸 直郎

就任挨拶 放射線医学講座 教授 入江 裕之

産科婦人科学講座 教授 横山 正俊

診療科紹介 皮膚科

診療科長
成澤 寛



佐賀県内の皮膚疾患の診断・治療の基幹病院として、難治性皮膚疾患の症例の多くの診断・治療にあたっています。外来診療は主治医制ですが、毎週臨床症例を記録したスライドを用いて複数の医師による相互チェックを行い、セカンドオピニオンにより確実で安心な診療を行っています。また女性医師の診療を希望される方にも対応しています。

取り扱っている疾患は幅広く、皮膚悪性腫瘍のほか、皮膚に症状を有する疾患の全てを診療対象にして、質の高い診療を目指しています。当科は、佐賀県内のがん治療認定研修施設として、日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医（三砂准教授）が主に担当し、県内の皮膚癌治療センターとなっております。外来手術を除いた年間手術件数は、約200件です。基本的には、日本皮膚科学会の科学的根拠に基づき皮膚悪性腫瘍診療ガイドラインに沿った治療を行っております。悪性黒色腫、有棘細胞癌、乳房外Paget病などに対しては、適応があれば、センチネルリンパ節生検を施行しており、必要があれば化学療法も併用しております。

薬物治療の有用性の反面、薬物アレルギー（薬疹）は治療を受ける側のみならず担当医師にも非常に不安を与え、治療薬選択時の大きな障害となります。最近の生物学的製剤や分子標的薬などの導入により、従来とは薬疹の臨床像も様相が変わりつつあります。可能な限り、原因薬剤の特定を行い、その結果を記載した薬疹カードを発行し、安全な薬剤の使用にお役立て頂いております。その他にも、食物・金属アレルギーなどの検査も行っております。

近年、乾癬の症例では生物学的製剤が使用されるようになり、明らかなQOLの改善を認める例が多く、当科は生物学的製剤使用承認施設となっております。



院内にセブンイレブンが登場します

本院にコンビニエンスストアが開店します。患者さま、お見舞いの方やスタッフからの要望により、平成25年1月7日から1階売店がセブンイレブンに改装オープンし、24時間営業を開始します。なお、改装工事に伴い、11月30日から売店は閉店します。向かいのチャットラウンジで仮店舗営業しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



「院内緑化推進プロジェクト」

本院では、不安な気持ちを持って来院される多くの患者さんやお見舞者等がまず最初に訪れる病院ロビーにおいて、その気持ちをやわらげ、安心できるような雰囲気を作成することや病で落ち込んだ心を癒したり、病を克服する強い気持ちを呼び起こす機会とすべく、生命力に満ちた緑多い植物を配置することで、これまでも院内緑化推進プロジェクト（エコロジーガーデン）を設置・運営し、皆様から好評を得てきたところです。

なお、この設置にあたっての財源につきましては、各企業様からのご協賛金によるものであり、今回も多数のご協賛をいただきましたこと、その継続が可能となりましたが、ご賛同いただきました皆様にはこの紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

また、この院内緑化計画及び協賛活動は、今後も引き続き実施していくこととしておりますが、設置内容等の更なる充実を図ることからも皆様方のお一層のご支援をよろしくお願いいたします。



ご協賛いただいた企業様名（順不同）

- 一般財団法人栄仁会
- 株式会社佐電工
- 日清医療食品株式会社
- 株式会社古川総合印刷
- 西部特機工業株式会社
- 林酸素株式会社
- 株式会社大島産業
- 株式会社本田設備
- 千代田計装株式会社
- 株式会社マベック
- 株式会社コアズ佐賀営業所
- 株式会社竹中工務店
- ホテルニューオータニ佐賀
- 株式会社ニチイ学館
- 財団法人学校福祉協会
- 中央タクシー株式会社
- 富士通株式会社
- ワタキューセイモア株式会社九州支社
- 株式会社チワタ
- 松屋株式会社
- 有限会社深川電気
- 株式会社やまと
- 株式会社東芝
- 峯松商店
- 三和通信工業株式会社
- 株式会社パースジャパン
- フジテック株式会社西日本支社九州支店
- その他（匿名希望）

災害訓練を実施しました

医療安全管理室

本院では、多数傷病者発生を想定した災害訓練を平成24年9月29日（土）に実施しました。平成23年に発生した東北の震災後、本院では平成24年1月にエマルゴ（災害訓練用セット）による机上訓練を行いました。今回そのフォローアップとして、実際に模擬患者を設定しての訓練となりました。当日は、消防局の御協力のもとに、医師・看護師・技師・事務スタッフ・学生など総勢約170名が参加し、本番さながらの緊迫した状況の中、真剣に訓練に取り組みました。訓練は、平日の午前8時45分に嘉瀬川河川敷パルーンフェスタ会場で熱気球が炎上落下し観客が巻きこまれ多数負傷者が発生し本院へ搬送されたという想定で、正面玄関ロビー及び総合外来付近で行いました。実際にトリアージ等を行う実践型訓練と、ホワイトボード等を現場に見立てて行う机上型訓練を組みあわせ、本学の医学部看護学科の学生と研修医に患者役を演じてもらいました。

大規模災害時の実際の院内の対応を想定した今回の災害訓練に対して、参加者からは「初めての本格的な訓練であり、問題点が抽出され、次回に十分生かされる」「部門の連携や非常時の運用等今後の課題が明らかになった」等の感想が寄せられ、非常に実りの多い訓練となりました。



文化コーナー

第7回文化コーナーにもたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。今回掲載されている優秀作品に選ばれた方々には、賞品としてカッチーくんグッズ（マグカップもしくはくい飲み）を贈呈いたします。また、病院ホームページや外来ロビー等に全作品を掲示しておりますので、是非ご覧ください。



▲「タイムスリップ」匿名希望さん

- 文化コーナー担当 南里悠介
- 俳句（社）日本伝統俳句協会会員「玉藻」同人
木下みね子・万沙羅 選
- とうがんの 煮物を持ちて 見舞ふ友 江口八重子さん
 - 白球を 追ってひたいに 玉の汗 萩原弓子さん
 - 夕暮れに なみだして見る 夕焼雲 片淵アイ子さん
 - 夢をのせ 健康維持に 足運ぶ 東島澄子さん
 - 障がいに なったからこそ ある出会い ナツチーさん
 - お見舞に 愛も戴き 治る日々 大石武子さん
 - 健康は 幸せ作りの 第一歩 中山トキ代さん
- 川柳（佐賀大学医学部附属病院広報委員会 選）